

「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募！

校長 佐藤 義朗

令和5年度から本校は、公益財団法人 海外子女教育振興財団主催「海外子女文芸作品コンクール」に全校で応募しています。自身が見て感じたインドを俳句や短歌、詩や作文にして表現豊かに表しました。

子どもたちのもっている純粋で素直な感性そして柔軟性が言葉で表現され、異なる文化の中で何に目を向け、どのように感じているのか理解することができました。また、今回の取組を通じて日本を離れた地で平和な日常を送ることができるありがたさも感じることができました。

以下、子どもたちの作品を紹介します。（今回は、小学部1年生です）

いんどじん やさしいな 一ねん イー いんどじん やさしいな たぐさん はなしかけてくれる はろー はい たっち ばいばい いんどじん やさしいな ちやいたいむを たいせつにしてる ぼくにも くれる ぼくも ちやいすぎ せんきゅー いんど の こども 一ねん ズ いんど の こども ねる の おそい よる も そとで あそんでる いんど の こども ねよう と おもったら こえがする なんか えいごで しゃべってる ぼくは もうねむいよ	いぬが いっぱい 一ねん ㇿ いぬが いっぱい こわい まえをみる こわくなくなる いぬが いっぱい どきどきする とおりすぎたら こわくなくなる いぬが いっぱい うしろむいたら まだいて びっくり
---	--



りきしゃが いっぱい 一ねん ㇿ いんど の りきしゃ いっぱい はしってる いんど の りきしゃ ひとつの らいと ふたつの らいと しかくの らいと まるの らいと いんど の りきしゃ もんすーんのとき だれもない りきしゃで あまやどり あめがあがった りきしゃ ばいばい	
---	---

『インドで活躍する日本人』 ニトリ・インド代表 山本様をお迎えして ～夢(ロマン)を持つことから

すべてが始まる～

7月3日、本校において、2024年にムンバイ(R CITY)へ出店し、現在は現地代表(カントリーマネージャー)としてご活躍されている株式会社ニトリの山本起大様をお迎えし、講演会を開催しました。

中学部では、7月17日に株式会社ニトリで職場体験を実施する予定となっています。今回の講演会は、その事前学習の一環として行われたもので、生徒たちはニトリの事業や海外で働くことの意義、仕事に対する考え方などについて学ぶ貴重な機会となりました。



🌍 世界一の市場インドでの挑戦と、地球のためのSDGs

世界一の人口を誇り急成長するインド。実は日本で販売されているタオルの多くがインド製であり、現地の店舗ではカレー用食器など独自の現地開発商品が3割を占めるなど、地域に根差した展開をされています。また、タイの自社工場で水を使わない着色方法を導入して汚さない工夫や、梱包を極限まで圧縮して回収する仕組みなど、地球のための環境マネジメント(SDGs)についても学びました。



🍌 「違い」を認めて、共に成長する

インドでの店舗立ち上げの始まりは「掃除を教えること」だったそうです。山本様自らが一緒に掃除をし、大切なことを言い続けることで、今では現地スタッフが主体的に動く文化が根付いているそうです。

💡 中学生へ向けた「働くこと」の3つのメッセージ

- ・働くことの「楽しさ」と「大変さ」を味わうこと
- ・お客様のために「できるだろう」と相手の立場で考えること
- ・「チームで働くこと」の面白さを体感すること

現在は店長を含めてわずか15名のスタッフで、同業種の企業と切磋琢磨しながら2号店の展開、さらに中東進出という大きな夢へ向かって進んでいっています。

「夢を持つこと。それがすべての始まり。小さな夢でもいい。大事なことは、目標を決めて、そのために『どうするか』を考えて行動すること。そういう未来のために、今日から何ができるかな!!」

中学部のみなさんには、今回の貴重な出会いをきっかけに、自分の「ロマン」について考え、小さな一歩を踏み出してほしいと願っています。



『インドで活躍する日本人』 Panasonic Sr.Manager 渡邊様をお迎えして ～「当たり前」を疑う、伝える そこから始まる～

7月10日、本校において、パナソニック株式会社より渡邊健太様を講師としてお招きし、講演会を開催しました。渡邊様は本校の保護者でもあり、学校運営委員にも就いていただいております。

今回は「光」をテーマにした講演会をしていただきました。普段何気なく使っている「あかり」を切り口に、企業のものづくりや社会への貢献、そして人との関わり方について学ぶ貴重な機会となりました。

♡ 世界を支えるパナソニックの技術と挑戦

講演では、パナソニックが照明をはじめ、ケーブルやシーリングファンなど、私たちの暮らしを支えるさまざまな製品を開発・製造していることをご紹介いただきました。

- スタジアムを彩る LED 技術 ガンバ大阪のホームスタジアム「パナソニックスタジアム吹田」では、パナソニックが開発した LED 照明が使用されており、真っ先に点灯・消灯できる高い技術が活躍しています。
- 未来への挑戦 2025 年大阪・関西万博にもパビリオンを出展していることなど、世界に挑戦し続ける企業の姿について知ることができました。また、人類が焚き火のあかりを利用するところから始まり、ガス灯、電球、そして現在の LED へと続く「光」の歴史についても学びました。



◆ 人それぞれ違う「見え方」を体感する

講演の後半では、「感じ方は人それぞれ違う」という内容で、生徒たちが主役となる体験活動を行いました。

- 同じ靴の写真でも、人によって見える色が異なる体験
 - 一つのアート作品から「海と夕日」「くまのプーさん」など、異なるイメージを膨らませる活動
- 一人の感じ方の違いを楽しみながら学び、友達の話をじっくり聞くことで、自分にはなかった新しい視点に気づくことができました。

✿ 渡邊様から生徒たちへのメッセージ

「自分にとって当たり前でも、相手には当たり前ではないことがある。だから、自分の考えを言葉で伝え、相手の話をしっかり聞くことが大切です」

今回の公演を通して、生徒たちがこれからの生活や社会で大切にしたいこととして、

- 多様な価値観を認めること
- 反対を尊重しながらコミュニケーションを図ることの大切さ

これらの重要な姿勢を学ぶことができました。

児童生徒の感想

…お話を聞くまでパナソニックは照明の会社であることを知りませんでした。スイッチ・コンセントなどをつくっていると聞いた時びっくりしました。家に帰ったらパナソニックがつくった商品があるか探しました。たくさんパナソニックの商品がありました。大切に使います。体験楽しかったです！！ミラーボールみたいできれいでした。私のお気に入りのは黒の紙に水色のライトです。花火みたいできれいでした。家でも小さいライトを使ってみたいと思います！！

…今回学んだ「ちゃんと意見を言わないと、人には伝わらないということを活かして、授業やいろいろな所でたくさん発言したいです。…

今回の講演を通して、子どもたちは企業のものづくりや技術の素晴らしさに触れるだけでなく、多様な価値観を認め合い、互いを尊重しながらコミュニケーションを図ることの大切さについても学ぶことができました。この学びを、これからの学校生活や将来の進路選択、そして社会の中で人と関わっていく力へとつなげていってほしいと思います。